

一緒に創る、ICT の未来

ICT



デジタル社会実現のために

- ・ デジタル化の推進
- ・ 地域の ICT 基盤整備を支援
- ・ 電気通信事業の監理監督と通信サービスの利用環境整備

電波の利用ルールを正しく守るために

- ・ 重要無線通信妨害と不法・違法無線局対策
- ・ 安心・安全な電波利用
- ・ 適正な利用環境の確保
- ・ 電波監視システム

限りある電波の有効利用のために

- ・ 無線局の免許等と電波利用の促進
- ・ 無線従事者に関する業務
- ・ 高層建築物等の電波伝搬障害防止区域の相談

防災基盤の整備・災害時の情報伝達のために

- ・ 防災基盤の整備を支援
- ・ 災害時に必要な移動通信機器等の貸出

便利で使いやすい信書便サービスのために

- ・ 信書便サービスの普及促進

魅力ある放送サービス普及促進のために

- ・ テレビ・ラジオ放送局等の免許
- ・ 放送の受信環境の整備促進と新たな放送の普及
- ・ ケーブルテレビの高度化等の推進



採用チームからのメッセージ

こんにちは、東海総合通信局です。
パンフレットを開いてくださり、ありがとうございます。

東海総合通信局は、総務省が進める情報通信施策を
岐阜県、静岡県、愛知県、三重県の4県に展開する地方支分部局です。
実際にどんな仕事をしているところなのか、
よく分からないという方が大半だと思います。

ですが、私たちの仕事は暮らしと密接につながっています。
例えば、スマートフォン、インターネット、Bluetooth、テレビ・ラジオ、Wi-Fiなど、
今や暮らしに欠かせないこれらを安心・安全で快適に使える毎日にするため、
私たちは日々業務に邁進しています。

また、今はまだ知られていないけれど将来のスタンダードになるような、
世界最先端のICT技術の研究・開発のサポートも重要な任務です。
中には、東海総合通信局だからこそできる仕事もあり、
さまざまなやりがいを感じながら働くことができる職場です。

具体的な仕事内容や職場の雰囲気について、
このパンフレットに登場する先輩の声から感じていただけたら嬉しいです。
採用チーム一同、あなたとお会いできるのを楽しみにしています。





01

情報通信部

電気通信事業課
消費者支援担当
令和5年4月 採用

難しいイメージの電気通信分野でも、 周りの人の助けで成長が早いです。

携帯電話などの販売代理店は業務開始前に届出の提出が必要で、私はその届出申請の処理を主に担当しています。まず申請が届いたら記載漏れや修正箇所等がないかチェックし、不備があればメールや電話で届出者に説明する流れです。入局したての頃は、申請自体が何を意味しているのかも漠然としていましたが、日々の業務の中で自然と知識が増え、今では自分の説明で届出者の方の疑問が解消されたり、理解が深まったりした時に「よかった」と嬉しく感じます。また、申請処理と並行して、年2回ほど開催される「電気通信消費者支援連絡会」の設営や事前準備も担当しています。電気通信消費者支援連絡会は、電気通信契約のトラブルに対して消費者をどう支援するかを検討する会場で、外部の方と密にやりとりしながら進めていくので専門知識はもちろん、説明力も身に付きます。先輩方は1聞いたら10説明してくれるくらい親切なので、若手の成長が早い職場だと思います。

休日の過ごし方

友人と出かけることが多いです。写真は、可愛い雑貨に惹かれて入店したスイーツ店です。ちょこんとした置物が好きで、街中で見つけるとついお店に入ってしまう（笑）。あとは身体を動かすことが好きで、休みにジムで筋トレしたり、ランニングしたりしています。中学、高校と陸上部で、今は趣味の範囲でランニングを継続。マラソン大会にも定期的に参加していて、最近「みえ松阪マラソン2023」に出場。42.195 kmを完走しました！



とある1日の
schedule
スケジュール

- 8:30始業
メール確認、
供覧書類の確認、
1日のスケジュール確認
- 9:00
販売代理店の
電子申請処理業務
- 11:00
消費者支援連絡会の
関連業務
- 12:00
昼休み
- 13:00
販売代理店の
紙申請処理業務
- 15:00
消費者支援連絡会の
関連業務
- 17:15
終業
定時で帰宅



02

情報通信部

情報通信連携推進課
連携推進担当

令和5年4月 採用

未来のスタンダードになっていく 最先端技術に触れられる仕事。

私は、東海地方の情報通信・放送の普及・発展、産業経済活動の活性化を目指す「東海情報通信懇談会」のセミナー・講演会のPRチラシ作成や設営、開催レポート作成のほか、産官学連携によるICT利活用の推進業務として東海地域を代表する8大学に訪問しています。企業や大学に勤める方や国立研究開発法人情報通信研究機構の方々と接するので緊張感はありますが、最新の研究に触れられるので多くの刺激を受けています。先日は、次世代のネットワーク「IOWN^{*}」の講演会をセッティングしました。この仕事をしていると初めて聞くワードも多いのですが、いち早く情報を吸収できるし、先輩方も優しく丁寧に教えてくださるので恵まれた環境だと思います。私も、日常で情報通信分野のアンテナを張るクセが少しずつ付いていることを実感。1年目なのでまだまだですが、まずは自分の提案が講演会などのミニコーナーなどで採用されることを目指して知識を蓄積していきたいです。

※IOWN(アイオン: Innovative Optical and Wireless Network):これまでの通信インフラの限界をはるかに超える高速大容量のネットワークを実現させる構想

休日の過ごし方

土日のうち、1日は好きなミュージシャンのMVや音楽番組を観てゆっくり過ごし、もう1日は外出することが多いです。研修で仲良くなった同期が全国にいたので、地方の同期に会いに行ってお当地グルメを食べたり、観光名所を巡ったりしています。写真は中国地方の同期に会いに行った時に、広島県の厳島神社で撮ったものです。この時は東海総合通信局の4人含めて8人が集まり、広島の牡蠣や揚げもみじ饅頭を堪能しました。



とある1日の schedule スケジュール

- 8:30 始業
メールと1日の予定を確認
- 9:00 大学訪問に向けて
行程確認や資料準備
- 10:30 打ち合わせ
- 12:00 昼休み
- 13:00 大学訪問で得た
要望や意見をまとめた
資料などを作成
- 16:00 東海情報通信懇談会の
PRチラシの作成や
ホームページの更新
- 17:15 終業
定時で帰宅

03

無線通信部

航空海上課
航空担当

令和5年4月 採用

人命に関わる重要な仕事に従事。
貴重な経験をしながら学べる環境です。

私は、航空機や空港の管制塔などで使われる航空関連無線の許認可・検査業務に携わっています。許認可には新設申請や変更申請があり、新設申請の場合は提出された書類と法令や審査基準を照らし合わせて問題がないか審査し、予備免許を発行します。その後、予備免許をもとに新設検査を実施し、問題がなければ免許状等を発給するという流れです。電波法や電波関係告示集など業務に必要な法令は膨大ですが、進める上で必要な条文を書き溜めた自作のマニュアルを作成し、今はそれを見ながら仕事を進めています。また、検査業務では免許のとおり電波が出ているかの測定や、無線機が問題なく使えているかなどを多角的に確認します。中にはヘリコプターや飛行機に乗って作動確認することもあり、貴重な経験から学ぶことがとても多いです。特に航空関係の無線局は安全や人命に大きく関わるので、その一端を担っていると思うと感慨深く、日々の仕事に力が入ります。

休日の過ごし方

大体、同期や友人と遊びに出かけています。休暇が取りやすい職場なので、土日と合わせて3連休にすることも。今は同期と横浜旅行を計画中で、中華街やラーメン博物館を巡りたいと考えています。また、特に予定のない休日は我が家の猫とのんびり遊んでいます。写真左側が男の子のルーク(1歳)、右側が女の子のマノン(3歳)です。どちらもラグドールで、モフモフしていて可愛いんです。ずっと触っていられます(笑)



とある1日の schedule スケジュール

- 8:30始業
メール確認
- 9:00
無線局の申請処理
- 11:00
課に届いた郵便物の
仕分け作業や
担当ラインの
郵便物の受付
- 12:00
昼休み
- 13:00
検査業務のため外出
(泊まりで行くことも)
- 16:00
検査業務の
報告書などの事務処理
- 17:15
終業
定時で帰宅



04

無線通信部

陸上課
公共団体担当
令和5年4月 採用

自分の業務が地域の安全の要に。
大きなやりがいでもちベーションもアップ。

私は、防災行政無線の許認可を主に担当しています。許認可と言っても業務は幅広く、地方公共団体から提出された計画の確認はもちろん、地形の影響で電波が届かない場所があれば電波法に則って対応策を考えたり、免許の際に設定した電力の基準や指定周波数などに問題がないかを無線局が設置してあるところに行って測定したりすることもあります。公共団体担当ならではの仕事として「周波数の割当」があるのですが、電波の飛び方が記載された地図をもとに周辺の割当状況に配慮し、混信が起こらない最適な周波数を見極めるのは非常に難しい作業です。その分、無事に終えた時の達成感は格別ですし、地域の防災に役立つと思うとやりがいは大きいです。配属当初は分からないことばかりでしたが、先輩が優しくフォローしてくれるし、研修制度がしっかりしているので文系出身の方でも心配はいりません。先輩のように、いつ質問しても的確に答えられる人を目指して頑張りたいです。

休日の過ごし方

旅行が趣味で、時間があえば友人と国内外のいろいろな場所に出かけています。今年の夏は、夏季休暇と年次有給休暇を合わせて1週間の休みをもらって台湾に行ってきました。台北北部の「九份」の美しい景色を見たり、台湾で最も高い「台北101」に登ったり、博物館に行ったりと大満喫！台湾のチャーハン食べ歩きも楽しみました(笑)。知らない土地を歩いて現地の料理を食べることは、私にとって良いリフレッシュになっています。



とある1日の schedule スケジュール

- 8:30
始業
メールの確認
- 9:30
無線局の申請処理、
当局にて
自治体と打ち合わせ
- 12:00
昼休み
- 13:00
翌日の出張
(無線局の検査事務)に
向けて資料などを準備
- 17:15
終業
定時で帰宅



05

総務部

財務課
資材係

平成30年4月 採用

**みんなが気持ちよく働く職場を
支えている誇りがあります。**

私は、広報活動などに関する契約やそれぞれの部署で使用する物品・設備の管理など、職場を支える業務を行っています。自動車や空調設備など普段の生活ではあまり触れてこなかったジャンルも扱うので、難しいこともあります。その分新しい知識を得られるという楽しさがあります。この仕事で大切なのは、限られた予算の中で必要性や優先順位を検討し、職員にとって働きやすく、過ごしやすい環境をつくっていくこと。社会に不可欠な情報通信を所管する東海総合通信局の体制を維持していくうえで、この職場でしか経験できない、大きな役割を担っていると自負しています。



06

情報通信部

電気通信事業課
政策担当

平成30年4月 採用

**2年間の本省勤務で培った経験が、
今の業務で大いに役立っています。**

採用1～2年目には無線局の許認可に関する業務に携わっており、採用3～4年目には総務本省での勤務も経験しました。その期間には、マイナンバーのシステム運用や保守、開発に関する業務などを担当。他の省庁とやりとりする機会も多く、説明するスキルも身につきました。こちらに戻ってからは、インターネットモラルの出前講座「e-ネットキャラバン」で自ら講師を務めることも。子どもたちにわかりやすく説明するうえで、本省での経験が大きく活かしていると感じます。また、安心安全なインターネット利用環境を整備するためには、自治体や企業、学校などとの連携も不可欠。電話やメールでのやりとりだけでなく、自治体などに出張し打ち合わせする機会も数多くあります。東海総合通信局の一員としてさまざまな方と関わっているときに、やりがいを感じています。



07

無線通信部

電波利用企画課
企画推進担当

平成30年4月 採用

この職場でしか経験することのできない、
スケールの大きな舞台で活躍できます。

私の担当は、戦略的情報通信研究開発推進事業(電波有効利用促進型研究開発)の公募に関する相談業務や形式審査、技術試験事務における実証実験や調査検討会など。令和4年度の技術試験事務は、車両の位置や動態把握などを行う移動体管理用無線システムの利用効果や技術面の検証などを行いました。まだ制度化される前の新しい技術に触れられることが、私にとっての大きなモチベーションになっています。また、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会では、世界中の報道関係者が集まる中で、会場内での無線検査や監視を行いました。現在は、2026年愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会に向けた電波利用環境の整備に関わっており、スケールの大きな舞台で活躍することができる職場です。



08

電波監理部

監視調査課
調査担当

平成30年10月 採用

仕事とプライベートの両立がしやすく、
ライフイベントに合わせた働き方ができる。

消防・救急無線、鉄道無線、警察無線などの妨害原因となる不法無線局の取締りと、電波の発射状況調査を担当しています。取締りについては現場に赴き、警察などの捜査機関と共同で行うため、成果が見えやすく世の中のためになっているという実感がダイレクトに得られます。それに出張が多いので、私のように外に出るのが好きな人にとっては大いにやりがいのある仕事だと思います。しかも、当局は働きやすさもピカイチ。休暇や制度が充実しているので、ライフイベントに合わせた働き方が選べます。私は第1子誕生時に約半年、第2子誕生時に約3ヶ月の育児休業を取得し、職場復帰後もフレックスや育児時間制度を活用しました。現在も週1日のテレワーク勤務で片道2時間ほどの通勤時間を削減し、その分を家族との時間に充てています。職場の先輩たちは育児の先輩でもあるので相談ができるし、理解も深く、色々配慮してくださるので感謝しています。



09

総務部

総務課
人事係長

平成18年4月 採用

**仕事と子育ての両立支援制度が充実。
理想どおりの育児を実現できています。**

私は、職員の採用や人事異動に関する手続きのほか、研修の応募や取りまとめなどを担当しています。この職場の良いところは、仕事と子育ての両立支援が充実していること。妊娠中は公共交通機関の混雑時間を避けられる制度を利用し、子どもが生まれてからは2年3カ月ほどの育児休業を取得しました。また、復職するときもあたたかく迎えられました。そして子どもが保育園に通っているときは、育児短時間勤務などを活用。小学生になってからは、フレックスタイム制度と週に2日ほどのテレワーク制度を利用しています。育児への理解がある職場なので、「できるだけ自分の手で育てたい」と望んでいたとおりの子育てができています。



10

情報通信部

情報通信振興課
課長補佐

平成8年4月 採用

**デジタル社会への変革に向けて
時代の変化を肌で感じられる職場です。**

私の担当は、光ファイバーや5Gなどの情報通信基盤整備の支援や、デジタル実装を通じた地域の情報化の推進などです。具体的には、インターネット回線が通っていない地域で、民間企業や自治体が設備を設置するための補助金申請などもサポートしています。入局してから20年以上が経っていますが、その間には情報通信の分野でさまざまな変化がありました。もっとも印象深いのは、テレビの地デジ化です。その頃は本省に勤務していて、毎日がんばっていたのを覚えています。この職場の魅力は、新しいサービスが開始されるときに、その過程と密接に関わっていけること。今はちょうど6G実現への最新の動向を肌で感じられることに面白みを感じています。

4月

採用後は東京で約1ヶ月間の研修を受けます。総務省採用の新規職員が一同に集まるため、全国に仲間ができます。研修はビジネスマナーや総務省全部局の仕事内容を学びます。また、情報通信分野の法律や無線通信・ネットワーク技術など専門的な研修を受けます。他にも所管する研究開発法人や放送局の見学などの所外研修があります。



5月

東京での研修から戻ると、東海総合通信局で1週間程度の集合研修があります。この研修では局内の各課の業務内容について学びます。この頃になると、自分がどのような部署に配属されているかのイメージを明確に持つことができるようになります。局内研修後には、配属先に分かれて課ごとの研修が行われていきます。



5>>9月

5月の下旬頃からは、課内での研修と並行してOJTが行われます。先輩職員や上司から仕事の手順や必要な知識を教わりながら実務を通じて、一つ一つの業務内容を習得していきます。また、東海地域の無線設備を使用している事業者の施設に所外研修として行くことで、業務との関わりや当局の意義を学んでいきます。



10月

条件付任用期間が終わり、本格的に業務に携わることとなります。検査等の出張業務を行うことや専門研修に参加できるため、スキルを磨き、キャリアアップを図っていきます。東海総合通信局の一員として、東海地域をICTでより豊かにできるよう、共にがんばっていきましょう！



よくある質問
Q&A

Q1 現職の方が東海総合通信局を志望した決め手を教えてください。

A1 ・勤務地が基本的に名古屋のみだったため。
・説明会で職員の雰囲気良く自分に合っていると思ったため。
・携帯電話の許認可など身近なところに関わっていると感じたから。
・5GやDXの取組など今後ますます発展していくであろう情報通信に関係した幅広い仕事に興味を持ったから。
など皆さんそれぞれの思いで当局を志望されています。

Q2 採用はどのように決定するのですか？

A2 国家公務員採用一般職（大卒程度試験）一次試験合格の方を対象に官庁訪問（採用面接）を実施し、面接を通じて皆さんの公務員を志望した理由や長所、学生時代の体験などをお聞きした上で、総合的に判断して決定しています。

Q3 採用は技術系の方が有利なのですか？

A3 そのようなことはなく、行政系、技術系による区別はせず、人物本位での採用を行っています。

Q4 大学で文系学科を専攻していますが、採用後、技術的なことに対応できるのでしょうか？

A4 配属先は採用区分による区別はしていません。採用後には、情報通信技術に関する専門的な研修を受講する体制があります。また、経験豊富なベテラン職員によるサポートが整っていて、これまでの文系学科の採用者は、技術系採用者と同様に業務に携わることができています。

Q5 勤務地はどのようになっているのでしょうか？

A5 岐阜、静岡、愛知、三重の東海4県を管轄していますが、出先機関はなく、勤務地は名古屋市となります。
採用3年目からの2年間は総務本省（東京）で政策立案業務などを経験し、その後は名古屋で勤務しますが、キャリアアップのため、本省での勤務を希望することも可能です。

Q6 出張はありますか？

A6 出張はあります。無線局検査、電波監視、警察との共同取り締まり、電波環境調査などのほか、自治体、企業等との各種事務打合せで出張することもあります。東海4県を管轄しておりますので、日帰りでは無理な場合は現地で宿泊もします。

Q9 仕事と子育ての両立は出来ますか？

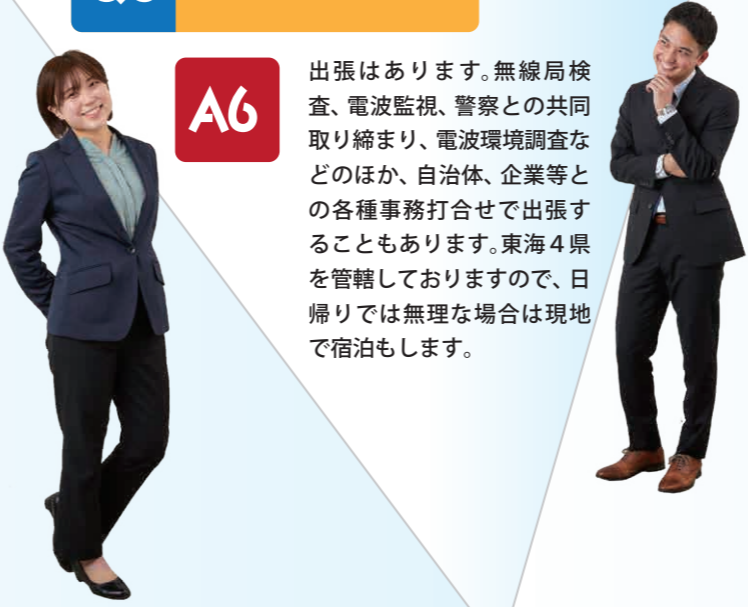
A9 出産、育児に関する休暇や制度が確立されていますので、職員のほとんどがこの制度を活用しながら働いています。出産に関しては、産前休暇（出産予定日の6週間前から取得可能）、産後休暇（産後8週間取得可能）があります。男性も、妻が出産する場合の休暇（配偶者出産休暇、育児参加のための休暇）が設けられています。育児に関しては、男女ともに子が3歳になるまでは育児休業制度、子が小学生に入るまで育児短時間勤務制度が利用できます。

Q8 テレワーク勤務する環境は整っていますか？

A8 職員一人一人に、テレワーク勤務ができるPC端末が配備されており、柔軟な働き方が可能な環境が整っています。職員はテレワークにより時間と場所を有効利用することで、仕事と家庭の両立や通勤負担の軽減が図られています。

Q7 年次休暇消化率など、働く環境について教えてください。

A7 年次休暇は、例年、付与された日数のほとんどが消化されており、ゴールデンウィーク、夏季休暇及び年末年始における連続休暇等の取得を奨励しています。また当局では、ワークライフバランスを推進するため様々な取組のほか、より働きやすい環境にするために、採用7年目までの職員が意見を出し合って改善していく「若手プロジェクト」により、業務の改善が図られています。



配属

- 官庁訪問、採用面接などで伺った話などを参考にして最初の配属先を決定します。
- おおむね2～3年ごとに人事異動が行われ、様々な部署を経験します。
- 採用3年目から2年間、総務本省で政策立案業務などを経験します。その後の勤務地は名古屋になります。
- 総務本省への転属を希望し、キャリアアップを図ることも可能です。

研修制度

- 充実した研修制度があるため、人事異動により新たな業務を経験する場合でも安心できます。
- 行政系・技術系の業務に偏ることなく総合的な能力を身につけることができます。
- 経験豊富なベテラン職員のサポートがあります。
- 情報通信政策研究所(総務省の外部機関)における総合研修(新規採用職員研修、新任係長研修など)や専門研修(ICT研修科[無線通信技術を含む]、陸上関係無線科、航空海上無線科、放送行政総合科、電波利用環境科、電波監視科、地域DX推進科など)を受講することができます。

新規採用職員研修



各種専門研修



キャリアアップ



総合通信調整官	基盤政策担当
---------	--------

総合通信調整官	DX 推進担当
---------	---------

総務部

総務課	局内事務の総括、文書管理、職員の採用
財務課	会計、契約、物品管理、庁舎の管理、電波利用料の徴収
企画課	総合調整、広報、ホームページ、情報公開、個人情報保護
信書便監理室	信書便事業の許認可・監督

防災対策推進室	情報通信技術を活用した防災及び減災のための対策の推進
---------	----------------------------

総合通信相談所	情報通信行政全般に関する相談
---------	----------------

情報通信部

電気通信事業課	電気通信事業の登録・届出等の手続、e- ネットキャラバンの推進、電気通信サービスに関する相談、電気通信主任技術者・工事担任者資格者証の交付
情報通信連携推進課	ICT 研究開発の推進、産学官連携による ICT 利活用の推進、情報通信ベンチャーの支援、コンテンツの流通促進
情報通信振興課	地域の情報通信基盤整備の支援、ICT/IoT 利活用による地域振興
サイバーセキュリティ室	サイバーセキュリティに関する周知・啓発

放送部

放送課	放送局の許認可・監督
受信障害対策官	テレビ・ラジオの受信障害の相談窓口
有線放送課	ケーブルテレビ及び有線放送の登録・届出・監督

無線通信部

電波利用企画課	周波数の管理、電波利用の調査研究、電波利用状況の調査・公表
航空海上課	航空機及び船舶関係無線局の許認可・監督、無線従事者資格の免許
陸上課	陸上関係無線局の許認可・監督、アマチュア無線局の許認可、高層建築物等電波伝搬障害防止区域に関する相談

電波監理部

電波利用環境課	電波利用環境保護の周知、電波適正利用推進員制度、不要電波による機器への障害などの電波環境及び生体電磁環境に関すること、高周波利用整備の許可・監督、登録検査等事業者の登録・監督
監視調査課	電波の監視、不法・違法無線局の探査・処分、重要無線通信妨害対策、捜査機関との共同取締り、電波の発射状況・利用状況調査、電波監視施設の管理



東海総合通信局総務課人事係

〒461-8795 愛知県名古屋市東区白壁1丁目15番1名古屋合同庁舎3号館

TEL 052-971-9106

<https://www.soumu.go.jp/soutsu/tokai/>

東海総合通信局 採用

検索